



# CHAPTER 1

## システム メッセージの概要

このマニュアルでは、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S 固有のシステム メッセージについて説明します。これらのメッセージは稼動中、システム ソフトウェアからコンソール（および任意で別のシステムのログイン サーバ）に送信されます。すべてのシステム メッセージがシステムの問題を示すわけではありません。通知目的のメッセージもあれば、通信回線、内蔵ハードウェア、またはシステム ソフトウェアの問題を診断するうえで役立つメッセージもあります。



(注)

Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、または 2960-S プラットフォーム固有ではないシステム メッセージについては、[www.cisco.com](http://www.cisco.com) で、Cisco IOS Release 12.2S に対応する『Cisco IOS Software System Messages』を参照してください。

- 「システム メッセージの読み方」(P.1-1)
- 「エラー メッセージのトレースバック レポート」(P.1-8)

## システム メッセージの読み方

システム ログ メッセージは最大 80 文字と 1 つのパーセント記号 (%) で構成され、設定されている場合にはその前に、オプションとしてシーケンス番号またはタイムスタンプ情報が付加されます。メッセージは、次のフォーマットで表示されます。

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: 記述 (ホスト名-n)  
(Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: 記述 (Catalyst 3750、2975、および 2960-S 以外のスイッチ)

システム メッセージ出力はデフォルトで、ログイン プロセスに送信されます。スイッチ スタックでは、スタック メンバがシステム メッセージ出力に各自のホスト名を追加し、スタック マスター上のログイン プロセスに出力を転送します。

各システム メッセージはパーセント記号 (%) から始まります。構成は次のとおりです。

%FACILITY-SEVERITY-MNEMONIC: Message-text

- FACILITY は、メッセージが参照するファシリティを示す 2 文字以上の大文字です。ファシリティは、ハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェアのモジュールなどです。表 1-1 に、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S 固有のファシリティコードを示します。

第 2 章「メッセージおよび回復手順」で、ファシリティ コードのアルファベット順、重大度の高い（数字が小さい）エラーから先に、各メッセージについて説明します。

表 1-1 ファシリティ コード

ファシリティ コード	説明	参照先
ACLMGR	ACL マネージャ	「ACLMGR メッセージ」 (P.2-4)
AUTHMGR	認証マネージャ	「AUTHMGR メッセージ」 (P.2-8)
AUTOQOS	Automatic Quality of Service (auto-QoS) (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「AUTOQOS メッセージ」 (P.2-10)
BACKUP_INTERFACE	Flex Link	「BACKUP_INTERFACE メッセージ」 (P.2-10)
BADTRANSCEIVER	障害トランシーバ メッセージ (3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「BADTRANSCEIVER メッセージ」 (P.2-11)
BSPATCH	ブート ロダー パッチ	「BSPATCH メッセージ」 (P.2-11)
CFGMGR	コンフィギュレーション マネージャ (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)	「CFGMGR メッセージ」 (P.2-12)
CMP	クラスタ メンバシップ プロトコル	「CMP メッセージ」 (P.2-15)
DHCP_SNOOPING	DHCP スヌーピング	「DHCP_SNOOPING メッセージ」 (P.2-16)
DHCP_SNOOPING_CAT3550	DHCP スヌーピング (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ」 (P.2-19)
DOT1Q_TUNNELING	802.1Q トンネリング (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「DOT1Q_TUNNELING メッセージ」 (P.2-20)
DOT1X	802.1x	「DOT1X メッセージ」 (P.2-21)
DOT1X_SWITCH	スイッチ用 802.1x	「DOT1X_SWITCH メッセージ」 (P.2-22)
DTP	ダイナミック トランッキング プロトコル	「DTP メッセージ」 (P.2-26)
DWL	Down-When-Looped	「DWL メッセージ」 (P.2-27)
EC	EtherChannel	「EC メッセージ」 (P.2-27)
ENVIRONMENT	環境 (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「ENVIRONMENT メッセージ」 (P.2-32)
EPM	ポリシー実行モジュール	「EPM メッセージ」 (P.2-33)
ETHCNTR	イーサネット コントローラ	「ETHCNTR メッセージ」 (P.2-33)
EXPRESS_SETUP	エクスプレス セットアップ	「EXPRESS_SETUP メッセージ」 (P.2-37)
EOU	EAP over UDP	「EOU メッセージ」 (P.2-38)
FM	機能マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「FM メッセージ」 (P.2-40)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

ファシリティ コード	説明	参照先
FRNTEND_CTRLR	フロントエンド コントローラ (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「FRNTEND_CTRLR メッセージ」 (P.2-49)
GBIC	ギガビット インターフェイス コンバータ (GBIC) モジュールの 識別および有効性チェック (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「GBIC メッセージ」 (P.2-50)
GBIC_SECURITY	GBIC モジュールおよび Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY メッセージ」 (P.2-53)
GBIC_SECURITY_CRYPT	GBIC および SFP モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (P.2-57)
GBIC_SECURITY_UNIQUE	GBIC および SFP モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」 (P.2-58)
GIGASTACK	GigaStack GBIC モジュール (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「GIGASTACK メッセージ」 (P.2-59)
HARDWARE	ハードウェア	「HARDWARE メッセージ」 (P.2-60)
HLFM	ローカル フォワーディング マネージャ	「HLFM メッセージ」 (P.2-63)
HPSECURE	HP セキュア	「HPSECURE メッセージ」 (P.2-64)
HULC	HULC	「HULC メッセージ」 (P.2-65)
IDBMAN	インターフェイス記述ブロック マネージャ	「IDBMAN メッセージ」 (P.2-65)
IFMGR	インターフェイス マネージャ	「IFMGR メッセージ」 (P.2-68)
ILET	IOS ライセンス強制テスト	「ILET メッセージ」 (P.2-70)
IGMP_QUERIER	Internet Group Management Protocol (IGMP) クエリア	「IGMP_QUERIER メッセージ」 (P.2-69)
ILPOWER	Power over Ethernet (PoE)	「ILPOWER メッセージ」 (P.2-71)
IMAGEMGR	イメージ マネージャ (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)	「IMAGEMGR メッセージ」 (P.2-77)
IP	インターネット プロトコル	「IP メッセージ」 (P.2-78)
IP_DEVICE_TRACKING_HA	ハイ アベイラビリティのための IP デバイス トラッキング	「IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ」 (P.2-79)
L2TM	レイヤ 2 フォワーディング マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「L2TM メッセージ」 (P.2-79)
L3TCAM	レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「L3TCAM メッセージ」 (P.2-80)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

ファシリティ コード	説明	参照先
MAB	MAC 認証バイパス	「MAB メッセージ」 (P.2-81)
MAC_LIMIT	MAC アドレス テーブル エントリ	「MAC_LIMIT メッセージ」 (P.2-81)
MAC_MOVE	ホスト アクティビティ	「MAC_MOVE メッセージ」 (P.2-82)
NETWORK_PORT_SATELLITE	ネットワーク ポート サテライト (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ」 (P.2-82)
PAGP_DUAL_ACTIVE	Port Aggregation Protocol (PAgP) デュアルアクティブ検出	「PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ」 (P.2-83)
PBR	ポリシーベース ルーティング (PBR) (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「PBR メッセージ」 (P.2-83)
PHY	PHY	「PHY メッセージ」 (P.2-85)
PIMSN	Protocol Independent Multicast (PIM) スヌーピング	「PIMSN メッセージ」 (P.2-88)
PLATFORM	下位レベル プラットフォーム固有	「PLATFORM メッセージ」 (P.2-88)
PLATFORM_FBM	フォールバック ブリッジング マネージャ	「PLATFORM_FBM メッセージ」 (P.2-90)
PLATFORM_HCEF	Cisco Express Forwarding (CEF) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)	「PLATFORM_HCEF メッセージ」 (P.2-91)
PLATFORM_HPLM	プラットフォームの疑似ラベル マネージャ	「PLATFORM_HPLM メッセージ」 (P.2-91)
PLATFORM_IPC	プラットフォームのプロセス間通信プロトコル (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「PLATFORM_IPC メッセージ」 (P.2-92)
PLATFORM_IPv6	IP Version 6	「PLATFORM_IPv6 メッセージ」 (P.2-94)
PLATFORM_PBR	プラットフォームのポリシーベース ルーティング	「PLATFORM_PBR メッセージ」 (P.2-94)
PLATFORM_PM	プラットフォームのポート マネージャ	「PLATFORM_PM メッセージ」 (P.2-96)
PLATFORM_RPC	プラットフォームのリモート プロシージャ コール (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「PLATFORM_RPC メッセージ」 (P.2-97)
PLATFORM_SPAN	プラットフォームのスイッチドポート アナライザ	「PLATFORM_SPAN メッセージ」 (P.2-100)
PLATFORM_UCAST	プラットフォームのユニキャスト ルーティング	「PLATFORM_UCAST メッセージ」 (P.2-100)
PLATFORM_VLAN	プラットフォームの VLAN (仮想 LAN)	「PLATFORM_VLAN メッセージ」 (P.2-103)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

ファシリティ コード	説明	参照先
PLATFORM_WCCP	プラットフォームの WCCP	「PLATFORM_WCCP メッセージ」 (P.2-104)
PM	ポート マネージャ	「PM メッセージ」 (P.2-104)
PORT SECURITY	ポート セキュリティ	「PORT_SECURITY メッセージ」 (P.2-112)
POWERNET	Powernet	「POWERNET メッセージ」 (P.2-114)
QATM	QoS および ACL TCAM マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「QATM メッセージ」 (P.2-114)
QM	QoS マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「QM メッセージ」 (P.2-116)
QOSMGR	QoS マネージャ	「QOSMGR メッセージ」 (P.2-118)
RMON	リモート ネットワーク モニタリング	「RMON メッセージ」 (P.2-125)
SCHED	スケジュール	「SCHED メッセージ」 (P.2-125)
SDM	スイッチング データベース マネージャ (Catalyst 3750 スイッチのみ)	「SDM メッセージ」 (P.2-126)
SPAN	スイッチド ポート アナライザ	「SPAN メッセージ」 (P.2-126)
SPANTREE	スパニング ツリー	「SPANTREE メッセージ」 (P.2-127)
SPANTREE_FAST	スパニングツリー高速コンバージェンス	「SPANTREE_FAST メッセージ」 (P.2-135)
SPANTREE_VLAN_SW	スパニングツリー VLAN スイッチ	「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」 (P.2-135)
STACKMGR	スタック マネージャ (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「STACKMGR メッセージ」 (P.2-135)
STORM_CONTROL	ストーム制御	「STORM_CONTROL メッセージ」 (P.2-138)
SUPERVISOR	スーパーバイザ ASIC	「SUPERVISOR メッセージ」 (P.2-139)
SUPQ	スーパーバイザ キュー	「SUPQ メッセージ」 (P.2-139)
SW_DAI	ダイナミック ARP インспекション	「SW_DAI メッセージ」 (P.2-141)
SW_MACAUTH	MAC アドレス認証 (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)	「SW_MACAUTH メッセージ」 (P.2-144)
SW_MATM	MAC アドレス テーブル マネージャ (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)	「SW_MATM メッセージ」 (P.2-145)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

ファシリティ コード	説明	参照先
SW_VLAN	VLAN マネージャ	「SW_VLAN メッセージ」 (P.2-145)
SWITCH_QOS_TB	QoS 信頼境界	「SWITCH_QOS_TB メッセージ」 (P.2-152)
TCAMMGR	Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャ	「TCAMMGR メッセージ」 (P.2-152)
UDLD	単一方向リンク検出	「UDLD メッセージ」 (P.2-155)
UFAST_MCAST_SW	UplinkFast パケット転送	「UFAST_MCAST_SW メッセージ」 (P.2-156)
VQPCLIENT	VLAN Query Protocol (VQP) クライアント	「VQPCLIENT メッセージ」 (P.2-158)
VLMAPLOG	VLAN アクセス マップ ログ	「VLMAPLOG メッセージ」 (P.2-157)
WCCP	Web Cache Communication Protocol (WCCP)	「WCCP メッセージ」 (P.2-159)
WRLSCNTR	Catalyst 3750 Integrated Wireless LAN Controller スイッチ	「WRLSCNTR メッセージ」 (P.2-160)

- 重大度は 0 ~ 7 の 1 桁のコードで、状態の重大度を表します。この値が小さいほど、重大な状況を意味します。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

重大度	説明
0: 緊急	システムを使用できません。
1: アラート	ただちに対応が必要な状態。
2: クリティカル	危険な状態です。
3: エラー	エラー状態です。
4: 警告	警告状態です。
5: 通知	正常だが注意を要する状態です。
6: 情報	情報メッセージ。
7: デバッグ	デバッグ時に限り表示されるメッセージ。

- ニーモニックは、メッセージを一意に識別するコードです。
- メッセージテキストは、状態を説明したテキスト文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワーク アドレス、またはシステム メモリ アドレス スペースの位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。この可変フィールドの情報はメッセージごとに異なるので、ここでは角カッコ ([ ]) で囲んだ短い文字列で示します。たとえば 10 進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージ内の変数フィールドを示します。

表 1-3 変数フィールド

表記	情報のタイプ
[dec]	10 進整数
[char]	1 文字
[chars]	文字列
[enet]	イーサネット アドレス (たとえば 0000.FEED.00C0)
[hex]	16 進整数
[inet]	インターネット アドレス

マスター スイッチ以外の Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチが生成した Syslog メッセージは、必ず (*Switch-x*) で終わります。*Switch-x* は、メッセージを生成したスタック メンバの番号です。マスター スイッチが生成した Syslog メッセージは、ホスト名の文字列なしで表示されます。

次の例は、Catalyst 3750、2975、および 2960-S 以外のスイッチのスイッチ システム メッセージの一部分です。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet0/1, changed
state to down 2 *Mar 1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2
(10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar 1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
```

次の例は、Catalyst 3750 スイッチ スタック、Catalyst 2975 スイッチ スタック、または Catalyst 2960-S スイッチ スタック内のスタック マスターおよびスタック メンバ スイッチ (ホスト名は *Switch-2*) に対応するスイッチ システム メッセージの一部分です。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet1/0/1, changed
state to down 2
*Mar 1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar 1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)

00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up (Switch-2)
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/1, changed state to up (Switch-2)
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/2, changed state to up (Switch-2)
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
(Switch-2)
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet1/0/1, changed
state to down 2 (Switch-2)
```

## エラー メッセージのトレースバック レポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。テクニカルサポートの担当者に問題を報告するときは、この情報を提出してください。

次のメッセージ例にはトレースバック情報が含まれています。

```
-Process= "Exec", level= 0, pid= 17  
-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860
```

システム メッセージによっては、エラー メッセージをコピーしたうえでさらに対応を要求される場合があります。次のオンライン ツールからシステム エラー メッセージの詳細を得ることもできます。

## アウトプット インタープリタ

アウトプット インタープリタは、**show tech-support** 特権 EXEC コマンドなど、さまざまな CLI コマンドの出力に基づいて、詳細情報および推奨する対応策を提供します。

<https://www.cisco.com/cgi-bin/Support/OutputInterpreter/home.pl>

## Bug Toolkit

Bug Toolkit は、解決済みまたは未解決の問題点に関する情報を提供します。特定の Cisco IOS Release で既知のバグをすべて検索できます。

<http://tools.cisco.com/Support/BugToolKit/>

## TAC への連絡

エラーの種類を特定することができない場合は、「[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)」(P.x) を参照してください。